

就任から10年 を迎えました



小さい頃は可児市の
草っぱらで虫捕りをしたり、
鳩吹山に登ったり、
児童館で遊んだりして、
可児市に育ててもらいました！

問 広報情報課

市と連携して、市公式SNS(Instagram、X、Facebook)やFMららのラジオ番組で可児市の魅力を発信している
塚本明里さん。今回は、令和5年10月でふるさと広報大使に就任して10年を迎えた塚本さんに話を伺いました。

大好きな可児市で大使を 任せてもらえてうれしかった

就任した当時、今よりも体調が良くなかったので、「大使の仕事をごなせるかな」という不安がありました。楽しくお仕事をごなすことができました。10年間、大好きな地元で「ふるさと広報大使」という仕事ができる心から感謝しています。

街中で声を掛けていただける ことが1番うれしい

市内で出掛けている時に、「応援しているよ」「インスタ見てるよ」と声を掛けてもらえることが、大使に就任してから1番うれしいです。市の公式SNSで発信しているだけでは、皆さんに市の情報が届いているか実感できにくいのですが、応援していただけるだけでパワーがもらえるし、これからも頑張ろうと思えます。

可児市の魅力は 「魅力が1つじゃないこと」

可児市の魅力は、自然の中で遊べる空間があって、歴史があつて、暮らしやすい場所でもあること。私も子どもの頃は、鳩吹山に登ったり、やすらぎの森で遊んだりしました。市内のいろいろな場所で遊んだ思い出があつて幸せです。

歴史については、明智光秀

や森乱丸、土田御前のふるさとだったり、美濃桃山陶の聖地の魅力に気付けます。また、文化創造センター・アウラができた時は、すごい施設で子ども心に誇りに思いました。

それ以外にも、子育て健康プラザ・マリーノがあつたり、昨年にはカニミライブ図書館がオープンしたり、多文化共生にも取り組んでいたりと、魅力がたくさんあるのが可児市の魅力だと思います。

好きなスポットは鳩吹山

鳩吹山には幼稚園の頃から病気を発症する高校生の時まで、20回ぐらいは登っていると思います。子どもでも登れる山だし、山登りが楽しくて毎回ワクワクしながら登りました。山頂からの景色が1番好きで、可児市の街を眺めて「こんなところに住んでいるんだ」と地元の景色を楽しんでいます。持病で山登りができなくなっても「#かにスタ」を付けて投稿された写真を見て景色を楽しんでいます。病気が治る日が来たら、鳩吹山に登るのが夢です。

これからも頑張ります！

これからも今まで以上に市の魅力を見つけて、市内外の人に発信していきたいです。イベントにも積極的に参加し

市の情報を市公式 SNS
やFMららであかりいく
発信しています♪



市公式 Instagram



FMらら
「可児市ふるさと広報大使
塚本明里のあかりい話♪」
第2・4木曜日 11時20分～

塚本明里さんプロフィール

可児市障がい者計画策定委員 / 岐阜県ヘルプマーク普及啓発大使
筋痛性脳脊髄炎、線維筋痛症、脳脊髄液減少症という病気を抱えながら、生活に配慮が必要な病気や障がいについての啓発活動を行っている

たいと思っているの、車いすに乗った大使を見つけたら、ぜひ声を掛けてください。
私以外にも市の魅力を発信してくれる人がいるとうれしいので、「#かにスタ」を付けてインスタグラムに投稿したり、それ以外でも皆さんのSNSで発信してくださるとうれしいです。一緒に可児市を盛り上げていきましょう！

